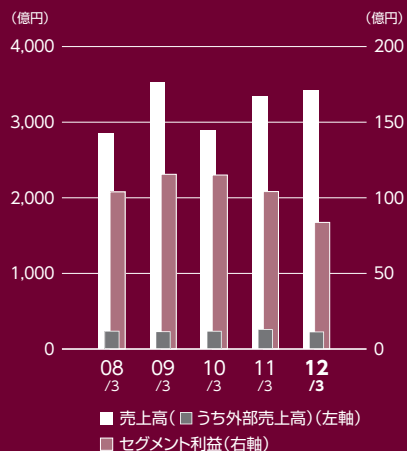




## 電力周辺関連事業

### セグメント売上高／セグメント利益\*



\* 2008年～2009年3月期は営業利益を、2010年～2012年3月期は経常利益を表示しています。

### 業績ハイライト

売上高は、連結子会社の石炭販売収入の増加等により、前期に対し2.0%増加の3,413億円となりました。

セグメント利益(経常利益)は、売上の増加はあったものの、売上原価の増加等により、前期に対し19.7%減少の83億円となりました。

### 事業の概要と特徴

電力周辺関連事業は、電気事業の円滑かつ効率的な遂行をサポートする事業を展開しており、具体的には電力設備の設計・施工・点検保守や、石炭の輸入、自社専用船を活用した石炭輸送等、発電所や送・変電設備の運営に必要な周辺事業を実施しています。

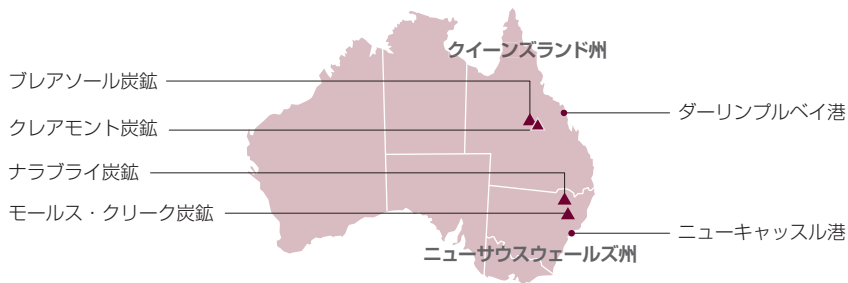
なお、国内卸電気事業の電力設備の保守は、J-POWERと子会社が一体となって行っています。

### 石炭調達

J-POWERは、年間約2,100万tの一般炭を調達する日本最大のユーザーとして、主に豪州やインドネシアから石炭を輸入しています。そのうち豪州では子会社を通じて4つの炭鉱プロジェクトの権益を保有しています。

世界の石炭需給は、中国・インドをはじめとする新興国の需要やLNG等の石

炭以外のエネルギー資源動向、その他地政学的要因等によって大きく変動します。こうした中であっても、J-POWERは火力発電用燃料としての石炭を長期で安定調達すべく、炭鉱権益等上流部分での関与を拡大し多様な調達ソースを確保しています。



### ▶ 炭鉱プロジェクト

(2012年6月末現在)

炭鉱名	所在地	積出港	生産規模	取得権益	出炭開始年
ブレアソール炭鉱	クイーンズランド州	ダーリンブルベイ港	約280万t/年	10%	1984年
クレアモント炭鉱	クイーンズランド州	ダーリンブルベイ港	約1,200万t/年	15%	2010年
ナラブライ炭鉱	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	約600万t/年	7.5%	2010年
モールス・クリーク炭鉱	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	約1,070万t/年	10%	2014年(計画)

(注) 子会社であるJ-POWERオーストラリア社を通じて出資しています。ブレアソール炭鉱の生産規模は、2012年度の想定生産量を記載しています。その他の炭鉱の規模は、今後想定されるピーク生産量を記載しています。